

～下田のデキゴト～



2/25 下田高校生活科学部がジビエ料理で大活躍

1年生は静岡魅力探求プログラムにおいて最優秀賞、2年生はオリジナルレシピを競う「ジビエ料理コンテスト」において、最高位の「農林水産大臣賞」と、それに続く「大日本猟友会会長賞」を受賞しました。



3/9 2,322人が津波避難訓練に参加

自主防災会を中心に、市内各地で避難訓練を実施しました。地域ごとに決められた津波避難場所へ避難し、経路の確認や危険箇所の共有を行うことで、発災時の早期避難に対する意識向上を図りました。



3/14 男女共同参画事業講座

男女共同参画センターあざれあの防災講師である内野浩恵さん、鈴木あゆみさんを講師として、避難所を模擬体験するHUGゲームを体験し、女性が避難所で過ごす際に必要と想定される備蓄品について提案いただきました。



2/25 地域おこし協力隊活動報告会

下田市地域おこし協力隊活動報告会を開催しました。各隊員が日々の活動内容や取組みについて発表を行いました。内容については、YouTubeにて公開していますので、ぜひご覧ください。



3/10 庁舎跡地の利活用検討市民ワークショップ

河内庁舎へ全体移転後の東本郷庁舎跡地利活用について、ワークショップを行い、参加者の下田をよくしたいという思いが詰まった多くのアイデアが出ました。今後、アイデアを踏まえて検討を行っていきます。



日本一(118段)ひな飾りと吊るし雛

3月23日～4月6日開催の蓮台寺「しだれ桃の里まつり」では、毎年ひな飾りが飾られます。色鮮やかなしだれ桃はもちろんのこと、今年から吊るし雛も追加され、より華やかな様相を呈していました。

3月のできごと

2日	国際友好コンサート・子ども未来発表会
8日	下田わくわくパークこれば!
17日	ビーチ環境保全意見交換会

18日	静岡県司法書士会との空き家連携協定締結式
19日	市内小・中学校卒業式
28日	移動図書館車お披露目式

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



5月の予定

- 2日(金) こどもの日の会
- 12日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所: 市民スポーツセンター (サンワーク)
- 14日(水) 敷根公園で遊ぼう 9時30分～11時
- 17日(土) 開館日
- 19日(月) 体操教室 10時～11時
場所: 市民スポーツセンター (サンワーク)
- 21日(水) 誕生会 10時30分～11時
- 23日(金) おでかけ広場(海遊公園) 9時45分～11時
- 26日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 28日(水) 歯のお話(講師: 河井恵美子)
- 30日(金) 図書館出前講座 10時30分～11時

春のさわやかな風につつまれて新年度がスタートしました。子育て支援センターは、親子で自由に活動できる場や子育てに関する相談、情報の提供などを行っています。また第一・第三土曜日の開館を行っています。お子さんの健やかな成長を保護者の方とともに願います。安心して子育てができるように活動を進めたいと思います。たくさんのお友達との出会いを楽しみにしています。お気軽にお越しください。



お雛様製作



誕生会



わくわくタイム



うさぎルーム

「必要とされている子どもたち」
こんにちは、教育長です

小中学生に尋ねた「将来は自分の街に帰ってきたいですか?」の調査で、高ポイントをあげた自治体がありました。教育長さんに「なぜこんなに高い数値が出るのでしょうか。」と尋ねると、「地元でのボランティア活動が多いからかなあ。」という答えが返ってきました。お子さんは各ご家庭でボランティア活動(お手伝い)をしているでしょうか。雨戸の開閉、新聞受け(郵便箱)から新聞を取ってくる、米を研ぐ、ご飯をよそう、配膳をする、食器を下げる、洗う、洗濯物をたたむ、買い物、玄関を掃く……。

お手伝いをすると家庭での役割を得られ、必要とされていることを実感し、現在よく言われる自己肯定感が育まれると言われます。同じように、育った地域で人のために働いたり活動したりすると、自分はその役に立ち、地域に必要とされているという実感を得、自分や地域を大切にし、そこに自己肯定感が育まれるのです。

昨年年度末、下田中学校での美術の授業で、生徒たちが市内の和菓子屋さんを講師に、樹脂粘土での和菓子作りを体験しました。後に商品化されたものを買い求めて召し上がった方もいらっしゃるといいます。一昨年度にはその代表作品が教育関連の文部科学省月刊誌「初等中等教育資料」の表紙にも掲載されました。生徒が何より嬉しかったのは、自分たちが考案した和菓子のデザインが、店主の目にとまり、商品化されたこと。下田をイメージした自分の発案が店主に認められ、商品化されて市民に喜ばれました。さらに多くの人たちに召し上がったことが、授業や活動が価値付けられ、自信や誇りにもつながりました。

周りの人たちのために行動し、喜ばれ歓迎され、お手伝いで家族から必要とされ、多くの方々に認められて子どもたちは育っていくのです。

